こんな本もおすすめ



『最新科学でも解明できない！古代エジプトの謎図鑑』

こざき ゆう 作
大城 道則 監修

幻冬舎
2025年12月

K240
（しらべもの）
240



『おれたちのラストイヤー』

マット・グッドフェロウ 作
ジョー・トッド＝スタントン 絵
小林 玲子 訳

評論社
2025年7月

セーグツ
（せかいのよみもの）
セ
グツ



『名探偵はナルシスト』

ささき かつお 作
てんてこ 絵

静山社
2025年12月

ニーササ
（にほんのよみもの）
ニ
ササ



『捨てられないずかん』

米田 まりな 作

大和書房
2025年9月

K590
（しらべもの）
590

☆★図書館の本のならびかた★☆

コンピュータの表示	じどうしつの本だなの表示	本のならびかた
E-ヨミハジメ-△	あかちゃんえほん	出版社のアイウエオ順
E-ヨミモノ-△	えほん	だいめいのアイウエオ順
E-チシキ-〇〇〇	ちしきえほん	すうじ順
K〇〇〇	しらべもののの本	すうじ順
ヨ-△△	やさしいよみもの	作者のアイウエオ順
ニ-△△	にほんのよみもの	作者のアイウエオ順
セ-△△	せかいのよみもの	作者のアイウエオ順

紹介している本は各図書館の特集コーナーにあるよ。
もし本が見つからないときは、図書館の人にきいてね！

としょかんたろう

★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

中央図書館	☎072−627−4129	畑田町1番51号
おにクル ぶっくぱーく	☎072−622−2476	駅前三丁目9番45号 おにクル内
水尾図書館	☎072−637−4416	水尾三丁目3番18号
庄栄図書館	☎072−620−1171	庄二丁目26番12号
穂積図書館	☎072−620−1056	松ヶ本町8番30号 イオンモール茨木内

編集・発行：茨木市立図書館
発行日：令和8年(2026年)10月

＊本の表紙は出版社の許諾を得て掲載しています。

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、9,720部作成し1部あたりの単価は11.92円です。

令和8年(2026年) 秋・冬号

次なる茨木へ。 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
茨木市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

おもしろい本みつけた！

《小学4・5・6年生》



1年の間に図書館に入った本を中心に、はばひろくおもしろい本を紹介します。

★ホームページにものっています。
気になる本をみつけたら、
さっそくさがしてみよう！

茨木市立図書館
おすすめ本のページ



『ねぎのねぎしくん』

戸森 しるこ 作　（講談社）
伊野 孝行 絵

ある日「ぼく」は道に落ちているねぎと出会いますが、そのねぎはただの野菜ではありませんでした。「ねぎしくん」と名乗るねぎは雰囲気がちょっとしぶく、ぼくとねぎしくんの会話は読んでいてクスッと笑ってしまう魅力があります。やがて別れが訪れますが、ねぎしくんとぼくの不思議な関係は終わりません。ねぎとのおだやかながらユーモアにあふれる日々を味わうことができる短編集です。

ニートモ
（にほんのよみもの）
ニ
トモ
（本の背ラベルです。）

2025年11月

茨木市立図書館



K540
（しらべもの）

540

2025年12月

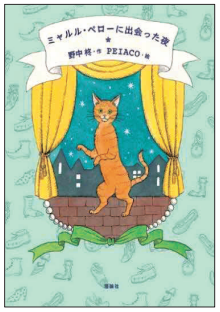
『こんにちは弱いロボット』

岡田 美智男 作　（偕成社）

早川 世詩男 絵

みなさんはロボットと聞くとどんなものを思い浮かべますか？「賢くてなんでもできる」というイメージがありますが、この本に出てくるロボットたちは、できないことがたくさんあります。

そんな弱いロボットたちが、どこかかわいらしく親しみを感じるのは、なぜなのでしょうか。弱いロボットを通して、人との関わり方までみえてくる本です。



ニーノナ
（にほんのよみもの）

ニ
ノナ

2025年11月

『ミャルル・ペローに出会った夜』

野中 柊 作　（理論社）

PEIACO 絵

旅するねこのニッキは、ミャルル・ペローと名乗る不思議なねこに大きなお屋敷へ招かれます。そこは、「長靴をはいたねこ」の長靴や「シンデレラ」のガラスの靴が飾られた特別なミュージアムでした。夜が更けると、靴たちがレコードの音に合わせて新月のダンスパーティーを始めます。

心がワクワクする文章とかわいい挿絵で、ニッキたちが生き生きとステップする様子が目に浮かびます。生きる喜びも悲しみも感じる不思議な夜を、一緒にのぞいてみませんか。



セーゴル
（せかいのよみもの）

セ
ゴル

2025年12月

『ひとりぼっちのベア』

ハンナ・ゴールド 作　（静山社）

田中 奈津子 訳

父親の仕事の都合で、北極の気象観測所へ引っ越すことになったエイプリルは、そこでひとりぼっちのホッキョクグマ「ベア」と出会います。ベアは氷がとけてしまったせいで、群れからはぐれてしまったのです。ベアと同じくひとりぼっちのエイプリルは、ベアと仲良くなったことで、とある決心をします。

ベアを助けたいというエイプリルの想いと行動が、周りの人や環境を変えていきます。氷の世界で育まれる友情と愛に心が温かくなる物語です。



K740
（しらべもの）

740

2025年12月

『空飛ぶ写真家の地球旅』

山本 直洋 作・写真　（小学館）

世界七大陸最高峰空撮プロジェクトチーム 写真

ちかぞう 絵

安福 紘大 監修

雲の上や富士山の火口といった、高い場所の撮影はどのようにしているのでしょうか。著者の山本さんはモーターパラグライダーに乗り、空から地球の写真を撮影しています。

世界七大陸最高峰空撮プロジェクトを立ち上げ、現在も挑戦を続ける山本さんが、どのようにして空撮写真家という職業にたどり着き、自分の夢を叶えたのか。この本では、その道のりをたどりながら、夢を追うことの楽しさを感じることができます。



K720
（しらべもの）

720

2025年11月

『わたしは書体デザイナー

みんなの「読める」をデザインしたい』

高田 裕美 作　（Gakken）

ニシワキ タダシ 絵

くどう のぞみ 絵

数字の1とアルファベットのI、Lの小文字のl、これらはとてもよく似ていますよね。フォントによっては見分けのつかないものもあります。パッと見てはっきりわかる、どんな人でも読みやすいフォントを作ろう！と、著者の高田さんは、UD（ユニバーサルデザイン）フォントを8年がかりで完成させました。フォントの面白さ、開発の苦労の他にも人にやさしい世界への思いが詰まっている1冊です。



ニーコモ
（にほんのよみもの）

ニ
コモ

2025年9月

『おしゃべりねずみゴル・ゴーン・ゾラ』

小森 香折 作　（偕成社）

平澤 朋子 絵

ねずみの3兄弟、ゴルとゴーンとゾラは、人間の言葉をしゃべることができる、ちょっと変わったねずみです。ふだん、3匹は人間の言葉をしゃべれることを隠していますが、「自分とチーズだけは見失うな」の家訓を心に、ここぞというときにしゃべって人助けをしたり悪者と戦ったりします。

この本には、ハラハラドキドキする冒険のお話が3つ書かれています。3匹のお父さん、パルメザンが活躍するシリーズも出ているので、そちらも読んでみてください。